

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (557), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (560), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (561), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (563), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	564	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)									
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育内容の充実 個別事業 世代間交流事業の促進	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・保育課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.08人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 712千円 (うち人件費 712千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。		事業目的	都市化、核家族化により園児が3世代の交流を経験することが減っている中、高齢者福祉施設との相互交流や地域のお年寄りとの交流を通じて世代間のふれあい活動を行う。				
(3) 事業内容	内容	高齢者福祉施設（ケアプラザ寿、和楽園、デイサービスすばいす、根戸デイサービス）への訪問、保育園に高齢者を招待し、交流を行う。また、地域の高齢者や自治会を保育園行事に招待し園児との交流を図る。		当該年度執行計画	高齢者福祉施設のお年寄りとの交流 ・寿保育園：ケアプラザ寿・湖北台保育園：和楽園、デイサービスすばいす ・つくし野保育園：根戸デイサービスセンター ・私立保育園においても、地域の高齢者や近隣の自治会、老人会等との交流を図っていく。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			当該年度	高年齢者参加人数	単位	人	想定値	490
	高年齢者施設との交流会を中心とした活動を通して、園児と高齢者のふれあいを推進する。			間接	高年齢者参加人数	人	実績値	0	0
	自治会のお年寄りなど地域の方とのふれあい活動も増やしていくことで、園児とお年寄りのふれあいを推進する。			間接	高年齢者参加人数	人	(5) 現況値	0	490
	地域のお年寄りや定期的なふれあい活動を実施し、世代間交流を推進する。			間接	高年齢者参加人数	人	(6) 目標値		495
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		交流先と保育園との調整 保育園地域活動事業	0		交流先と保育園との調整 保育園地域活動事業	0		交流先と保育園との調整 保育園地域活動事業	0
	予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
	一般財源		0		0		0		0
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)		1.6		0.08		0.08		1.6
	正職員人件費		13,920		712		712		14,240
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0
	臨時職員賃金額		0		0		0		0
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		13,920		712		712		14,240
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	28.41千円/人		1.45千円/人		0				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	都市化や核家族化により子ども達が高齢者と交流する機会が減少している。このため、地域の高齢者とのふれあいを通じて世代間の交流を図ることが必要である。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 新型コロナウイルスの感染拡大により、交流を行うことができなかった。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった ●③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 公立保育園が主導して実施することにより、私立保育園等の見本となり、施策の実効性が期待される。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		高齢者施設と連携し、実施している。		保育園等の児童が高齢者施設に訪問することにより、世代間の交流を行うことができる。		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ●③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> 新型コロナウイルスの感染が拡大していたため、交流活動を実施することができなかった。		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ●⑤その他				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	○①目標達成 ●②目標未達成		
	0	490	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している ●②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	0	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルスの感染が拡大していたため。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策	実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
		712	13,208	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 ●②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他	712	100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因> 交流活動が実施できなかったため。		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		
	68.82	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	0	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルスの感染拡大により、交流活動が実施できなかったため。		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度から、結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向 令和4年度から、結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (567), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (568), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	570	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育内容の充実 個別事業 産休・育休予約事業	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	子ども部・保育課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.4人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 17,035千円 (うち人件費 3,560千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名) 子ども総合計画・健康福祉総合			
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。			事業目的	産後休業明けや育休休業明け等に伴う年度途中の需要に対応するために、乳幼児受入れのための条件整備を図り、保育を必要とする乳幼児の福祉の向上を図ることを目的とする。					
(3) 事業内容	内容	産休育休取得者が円滑に職場復帰ができるよう出生前から入園申込を受け付け、計画的に乳幼児が入園できるよう保育園と調整する。入園前に乳幼児の負担を軽減するための慣らし保育を実施する。私立保育園については、本事業の安定した運営のため補助金を交付する。			当該年度執行計画	○産休育休明け入園申込及び入園受理・予約の通知(随時) ・年度内入園希望は随時、翌年度4月入園は3月上旬に通知。 ○産休育休明け予約事業実施園と入園調整(通年)及び補助金交付 2021年5月: 補助金交付申請 2022年4月: 補助金実績報告					
		○産後休業明け保育 ・公立: 青、湖北台 私立: 恵愛こども園、慈絨、聖華みどり、つばめ ○育休休業明け保育 ・公立: 市内全保育園 私立: 恵愛こども園、慈絨、柏風、天王台双葉、川村学園女子大学附属、禮和、あびこ菜の花、聖華みどり、東あびこ聖華、布佐宝、根戸、つばめ、湖北、双葉			当該年度活動結果指標	入園予約児童数(年)	単位	人	想定値	100	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	入園予約児童全てを職場復帰前にならし保育を実施し、全ての児童に対して入園を可能とする。				直接	入園予約児童数に対する入園実施割合		%	100	100	
令和4年度	入園予約児童全てを職場復帰前にならし保育を実施し、全ての児童に対して入園を可能とする。				直接	入園予約児童数に対する入園実施割合		%		100	
令和5年度	入園予約児童全てを職場復帰前にならし保育を実施し、全ての児童に対して入園を可能とする。				直接	入園予約児童数に対する入園実施割合		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			私立保育園運営費補助金	12,352		私立保育園運営費補助金	13,475	12,352		私立保育園運営費補助金	13,475
		予算(決算)額	合計	12,352	合計	13,475	12,352	合計	13,475	合計	13,475
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	
	一般財源		12,352		13,475	12,352	13,475			13,475	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.45		0.4		0.4		0.45			
	正職員人件費	3,915		3,560		3,560		4,005			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	16,267		17,035		15,912		17,480				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	162.67千円/人		170.35千円/人		206.65						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	少子化の急速な進行による労働人口の減少は、社会経済に深刻な影響を与えている。このため、就労と出産・子育ての選択構造を解消し、生活と仕事のバランスを実現することが不可欠となっている。また、企業等の育児休業制度が充実し、産休・育休取得者が増え、年度途中入園希望も増加している。産休・育休明けの入園予約を受けることにより、円滑な職場復帰、保護者の入園待機に対する不安軽減を図ることができることから本事業は必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった ■③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 私立保育園等と協議して定めた補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。				○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		私立保育園が自主的に産休明け事業を実施している。		私立保育園等と協議して定めた補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 特になし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)			
					100	100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 当初の想定どおり事業を実施できた。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について		
	17,035	△768	<削減の内容>		15,912	93.41	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.59		●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
			10万円		0.63	106.78			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (571), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (572), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section for overall assessment.

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (573), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定, (6)効率性, and (7)目標値の実現.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 縮小) and a text box for comments.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	577	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育内容の充実 個別事業 障害児保育・統合保育事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・保育課							
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	平成20年度 ~		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.24人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当初	57,209千円 (うち人件費 2,136千円)		変更後	86,032千円 (うち人件費 2,136千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	子ども総合計画・健康福祉総合			
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。					事業目的	保育を必要とする障害児及び統合保育対象児童の受入れによって、障害児と健常児のふれあいを通じて心身の発達を図る。						
(3) 事業内容	内容	心身に障害を有する児童で、保育を必要とする場合は、療育専門委員会を開き障害児の状態などを話し合い入園の可否を判定する。集団保育が可能と判断された児童は、児童の状態と保護者の意向を取り入れ、保育園での保育を実施する。また、統合保育として、心身に障害を有する児童で、就学前の集団保育を経験することが望ましい児童についても保育園での保育を実施する。					当該年度執行計画	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい児童の障害児保育・統合保育を実施する。						
		当該年度活動結果指標	保育園利用可能者数		単位	人	想定値	20		実績値	10			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい入園児童の障害児保育・統合保育を実施する。					直接	入園児童数		人	10	20			
令和4年度	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい入園児童の障害児保育・統合保育を実施する。					直接	入園児童数		人		20			
令和5年度	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい入園児童の障害児保育・統合保育を実施する。					直接	入園児童数		人		20			
(7) 事業実施上の課題と対応	障害児保育・統合保育を実施するための保育士の確保が困難になってきている。					代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			フルタイム会計年度職員7人(保育士7) 障害児保育補助金	20,856 40,128		フルタイム会計年度職員3人(保育士3) 障害児保育補助金	11,380 72,516	10,077 72,516		フルタイム会計年度職員4人(保育士4) 障害児保育補助金	14,537 40,536		フルタイム会計年度職員4人(保育士4) 障害児保育補助金	14,537 40,536
		予算(決算)額	合計		60,984	合計	83,896	82,593	合計	55,073	合計	55,073		
		(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
(10) 人件費等	国庫支出金 補助率 33%	13,376	補助率 33%	13,512	補助率 33%	13,512	補助率 33%	13,512	補助率 33%	13,512				
	起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
	一般財源	47,608		70,384	79,046		41,561		41,561					
	その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
換算人数(人)	0.25		0.24	0.24		0.25		0.25						
正職員人件費	2,175		2,136	2,136		2,225		2,225						
嘱託職員報酬額	0		0	0		0		0						
臨時職員賃金額	0		0	0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	63,159		86,032		84,729		57,298		57,298					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3,157.95千円/人		4,301.6千円/人		8,472.9									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	心身に障害を持つ児童の子育ては、保護者の精神的負担もあり、保育ニーズが多い。また気になる子は、他の児童とふれあう機会も少なく、気になる子を集団生活や地域のふれあいによって健やかに育むことが求められている。さらに、近年、気になる子(障害児等)が増加傾向にある。このような状況に対応するためには、公立保育園における気になる子の保育の提供、私立保育園における障害児保育の支援は必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 保育を必要とし、保育園への入園を希望する障害児に保育を提供することができた。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ■⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 私立保育園等では障害児保育を実施するための保育士の確保が難しいため、市が主導し、実施していく必要がある。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		補助内容の決定の際に、私立保育園等と協議している。		私立保育園等と協議し、定めた補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 自然環境と本事業は関連がない。				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ●②目標値未達成		
	10	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	50		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 保育を必要とする障害児のうち、保育園等への入園を希望する人数が少なかったため。		
									○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	98.49		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要	
	0.02	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	50		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 保育が必要な障害児のうち、保育園等への入園を希望する人数が少なかったため。		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Table with 10 columns: 事業コード, 課コード, 会計種別, 一般会計, 予算の種類, 政策, 経常, なし. Includes sections for 1. 事業の概要 (PLAN) and 2. 事業の評価 (DO+CHECK).

Table for 2. 事業の評価 (DO+CHECK) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

Table for 3. 事後評価 with columns for 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

Table for 評価 with columns for 事務事業の見直しによる結合, 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく, 改善策及び展開方向, 令和4年度からは結合後の事務事業の中で、一体的に推進していく.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1348), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and a comment field.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1761	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 休日保育の充実 個別事業 休日保育事業	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	子ども部・保育課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	平成22年度 ~		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.35人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 5,515千円 (うち人件費 3,115千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	子ども総合計画・健康福祉総合			
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。			事業目的	多様化する社会環境の中で休日も保育を必要とする児童への保育を確保するとともに、健全な子育て環境を維持する。							
(3) 事業内容	内容	就労の多様化などを背景に、日曜・祝日に「保育を必要とする児童」の保育需要に対応する。平成18年10月より、私立恵愛保育園において定員30人程度で開設。平成21年度末で、利用者が少ないことから、恵愛保育園での休日保育事業を廃止する。平成22年度から、ファミリーサポートセンター事業を活用して、休日保育事業を委託事業として実施している。平成27年度から、小学生の休日保育事業を開始。休日保育を頻りに利用する人がいる年といえない年で延べ利用人数が増減してしまうため、平成30年度から指標を変更した。			当該年度執行計画	ファミリーサポートセンター事業を活用して、休日保育事業を事業者に委託して実施する。日曜・祝日に「保育を必要とする児童」の保育需要に対応する。							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	多様化する就労形態に対応した保育サービスを提供できる。			指標種類	指標	単位	%	想定値	100			
当該年度	多様化する就労形態に対応した保育サービスを提供できる。	間接	実施率(実施件数/申込件数)	%	100	実績値	100	(5) 現況値	(6) 目標値	100			
令和4年度	多様化する就労形態に対応した保育サービスを提供できる。	間接	実施率(実施件数/申込件数)	%						100			
令和5年度	多様化する就労形態に対応した保育サービスを提供できる。	間接	実施率(実施件数/申込件数)	%						100			
(7) 事業実施上の課題と対応		代替案検討		○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
			休日保育事業委託料	2,700		休日保育事業委託料 【3月補正】 休日保育事業委託料補正	2,400 △800		休日保育事業委託料	2,400		休日保育事業委託料	2,400
		予算(決算)額	合計	2,700	合計	1,600	1,373	合計	2,400	合計	2,400		
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0			
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0			
一般財源		2,277		1,156	1,373		1,956		444	444			
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	423	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	444	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	444	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	444	444			
換算人数(人)		0.45		0.35	0.35		0.45		0.45	0.45			
正職員人件費		3,915		3,115	3,115		4,005		4,005	4,005			
嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0	0			
臨時職員賃金額		0		0	0		0		0	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		6,615		4,715	4,488		6,405		6,405	6,405			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		66.15千円/%		47.15千円/%	44.88								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	保護者の就労形態の多様化や社会環境の変化とともに核家族の進行や共稼ぎ世帯の増加で、近隣の人間関係も希薄になり、気軽に子どもを預けられるところがないため、休日保育の需要が高まる傾向にある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 働き方の多様化に伴い、休日保育を必要とするニーズに応えることができた。				○要 ●不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他  ●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input checked="" type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 休日保育に対する需要があることから、市が主導となり委託先と調整を図りつつ事業を実施する必要がある。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要		
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他  <その他の内容>		ファミリーサポートセンター事業を活用して行う事業のため、提供会員が保育を実施する。		ファミリーサポートセンターの会員(市民)が相互援助活動を行った。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要		
環境に配慮して事業を進めているか？	○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成  <目標を達成した理由/未達成となった原因> ファミリーサポートセンターのアドバイザーの調整によりすべての利用希望に対応することができた。		○要 ●不要		
	100	100	○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	100					
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 ○②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 ○③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 ■④民間委託		実績値(g)(千円)	4,488	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過  ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>						
	28.72										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下  <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルスの影響で状況を想定することが困難であった。		○要 ●不要		
	2.12		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	2.23	対目標値(%) (h/e)×100		105.19		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1899), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and comments.

Summary table for post-evaluation with columns for status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1935), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a comment field for evaluation.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1950	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育施設の充実 個別事業 湖北台保育園の再整備	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	子ども部・保育課							
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 □新木 □布佐 □全市									
	⑤事業期間	令和3年度 ~ 令和4年度	⑥担当職員数	6人 (換算人数)	0.36人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 239,558千円 (うち人件費 3,204千円)									
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33103 重点プロジェクトへの位置づけ 重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市保育園等整備計画							
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。 老朽化が進む湖北台保育園園舎及びわくわく広場の建物を当該敷地内に園舎と広場の複合施設として整備を実施する。	事業目的	子どもが健やかに育つ質の高い保育環境の整備と待機児童ゼロの維持を実施する。									
(3) 事業内容	内容		当該年度執行計画	7月：準備工事 8月：仮設工事（仮囲い）・わくわく広場解体工事 9月～10月中旬：山留工事・周囲擁壁工事 10月下旬～11月中旬：地業工事 11月下旬～12月：基礎工事 1月～3月：鉄骨工事・屋根・外壁・外部建具工事・内装工事									
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)		当該年度活動結果指標	単位	%	想定値	60	実績値	60				
当該年度	園舎等建替工事を完了させる。		直接	工事進捗率	%	60	60						
令和4年度	園舎建替工事及び旧園舎解体・園庭等整備を完成させる。		-	工事進捗率	%		100						
令和5年度	園舎等建替工事及び既存園舎の解体等の工事を完了させる。		-	工事進捗率	%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	旧園舎の解体内容や園庭等の敷地の賃貸借料についてURと検討・協議が必要となる。		代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		*	新園舎等建替工事設計業務委託料	19,231	*	新園舎等建替工事費(1年目) 新園舎等建替工事監理業務委託料(1年) 厨房備品購入 (債務負担行為設定R3~R4)	234,842 1,512 0	*	新園舎等建替工事費(2年目) 新園舎等建替工事監理業務委託料(2年) 園舎解体等工事(駐車場整備含む) 園舎解体等工事監理業務委託料 手数料(建物登記・水道検査等) 厨房備品購入(債務負担行為設定R3~R4) カーテン等備品購入費 運搬費(物品引越・厨房備品移設) 土地賃借料	156,560 3,526 92,565 4,651			
		予算(決算)額	合計	19,231	合計	236,354	222,442	合計	257,302	合計	0		
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	補助率	0%		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%				
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
起債	充当率	85%	15,400	充当率	90%	212,700	充当率	90%	229,300				
一般財源			3,831		18,654	4,742		28,002					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 ■基金 □その他	5,000	5,000	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.39		0.36	0.36		0.32					
正職員人件費			3,393		3,204	3,204		2,848					
嘱託職員報酬額			0		0	0		0					
臨時職員賃金額			0		0	0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			22,624		239,558	225,646		260,150					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			226.24千円/%		3,992.63千円/%	3,760.77							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童ゼロ及び質の高い保育環境を提供するためには、保育園施設の整備は不可欠である。ここ数年で、私立保育園の改修や新設により、公立保育園の施設の充実がますます求められている。</li> <li>子どもたちが健やかに育つため、安全でより良い保育環境の整備が保護者からも強く求められている。</li> <li>耐震診断結果を踏まえ、園舎の建替えを行うことが不可欠なものである。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前確認での想定どおり</li> <li>○事前確認での想定どおりでなかった</li> </ul> <p>&lt;想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因&gt; 湖北台地区公共施設の整備方針に基づき、子育て支援施設を取り入れた複合施設として新園舎建設を実施する。</p>					○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他</li> <li>●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった</li> <li>■②市が主導で進めなければ実効性がなかった</li> <li>□③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された</li> <li>□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した</li> <li>□⑤サービス水準が確保された</li> <li>□⑥サービスの安定供給基盤が確保された</li> <li>□⑦その他</li> </ul> <p>&lt;その他の内容&gt;</p>					○要 ●不要	
	参加・協働の工夫			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)					○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点			実施した具体的な内容					○要 ●不要	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□①自然環境を生かしている</li> <li>□②生き物と共存している</li> <li>□③手賀沼を意識している</li> <li>□④環境負荷低減に貢献している</li> <li>■⑤その他</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●①想定どおり</li> <li>○②想定どおりでなかった</li> </ul> <p>&lt;想定どおりでなかった原因&gt;</p>					○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	60	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>■①客観的なデータ・事実に基づき設定している</li> <li>□②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない</li> <li>□③現況値との差が小さい値ではない</li> <li>□④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●①目標値達成</li> <li>○②目標値未達成</li> </ul>		<p>&lt;目標を達成した理由/未達成となった原因&gt; 関係者が一体となり、課題を解決したことによる。</p>			
	達成率(f)(%)		達成率(g)(%)		達成率(h)(%)		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□①国・県助成制度活用</li> <li>□②現行体制での対応</li> <li>□③維持管理費の削減策の実施</li> <li>□④民間委託</li> <li>□⑤PFI等民間資本の活用</li> <li>□⑥受益者負担</li> <li>□⑦その他</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●①想定事業費未済</li> <li>○②概ね想定事業費以内</li> <li>○③想定事業費超過</li> </ul>		<p>&lt;想定どおり削減できなかった原因&gt;</p>			
	239,558	△216,934	△958.87		225,646		94.19		○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0.03		<ul style="list-style-type: none"> <li>●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費</li> <li>○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●①目標値以上</li> <li>●②目標値と同程度</li> <li>○③目標値以下</li> </ul>		<p>&lt;目標値以上となった理由/目標値以下であった原因&gt;</p>			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2025), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2033	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 地域子育て支援活動の推進	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	子ども部・保育課							
	③事業主体	個別事業 企業参加の子育て支援	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.06人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 543千円 (うち人件費 534千円)									
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域全体で子育てを支援する環境をつくるため、保育園・幼稚園・NPOなど子育て支援にかかわる団体との連携を強化するとともに、各団体間の連携を促進します。また、父親の育児参加の促進や地域に根ざした子育て支援事業の充実、市民への啓発、子育てサークルなどによる自主的な活動の促進など、家庭で孤立し				事業目的				市内の企業(事業者)とともに、地域の子育て中の家庭が外出しやすい環境づくりやサポートを受けられる環境づくりを推進する。					
(3) 事業内容	内容	授乳とおむつ替えができる場所「あかちゃんステーション」を市内の協力店や公共施設に設置し、外出しやすい環境づくりを推進する。平成26年7月から市内4箇所の子育て支援施設でおむつの販売を開始した。また、千葉県事業である子育て家庭の優待カード「子育て応援！チーバス事業」の協賛店舗(チーバスの店)を増やし、市内商業者と連携した子育て支援を推進する。				当該年度執行計画				授乳とおむつ替えができる場所「あかちゃんステーション」の協力店を増やし、外出しやすい環境づくりを推進する。また、千葉県事業である子育て家庭の優待カード「子育て応援！チーバス事業」の協賛店舗(チーバスの店)を増やし、市内商業者と連携した子育て支援を推進する。両事業を関連させながら、我孫子市商工会や各商店会、各店舗に協力してもらえよう継続して説明と依頼を行う。					
						当該年度活動結果指標				市内のチーバス協賛店舗数	単位	箇所	想定値	175	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類		指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	地域の子育て中の家庭が外出しやすい環境づくりやサポートを受けられる環境づくりの推進				直接		市内のチーバス協賛店舗数		箇所	171	175				
令和4年度	地域の子育て中の家庭が外出しやすい環境づくりやサポートを受けられる環境づくりの推進				直接		市内のチーバス協賛店舗数		箇所		177				
令和5年度	地域の子育て中の家庭が外出しやすい環境づくりやサポートを受けられる環境づくりの推進				直接		市内のチーバス協賛店舗数		箇所		180				
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討		○有 ○無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			あかちゃんステーション消耗品費	9		あかちゃんステーション消耗品費【9月補正】 * 簡易設置型授乳室購入費(miruru)	715	9	715		あかちゃんステーション消耗品費	9		あかちゃんステーション消耗品費	9
			予算(決算)額	合計	9		合計	724	716		合計	9		合計	9
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	99%	715	715	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源			7			7	7			7			7	
その他の財源	□特会 ■受益 □基金 □その他		2	□特会 ■受益 □基金 □その他		2	0	□特会 ■受益 □基金 □その他		2	□特会 ■受益 □基金 □その他		2		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.06			0.06	0.06			0.06			0.06		
	正職員人件費		522			534	534			534			534		
	嘱託職員報酬額		0			0	0			0			0		
	臨時職員賃金額		0			0	0			0			0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			531			1,258	1,250			543			543		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			3.03千円/箇所			7.19千円/箇所	8.01								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市の財政状況が厳しさを増す中で地域子育て支援を推進していくためには、市と地域の企業(事業者)が連携することで、子育ての環境について経済的、物理的に支援し、子育てを行う家庭を応援していくことが求められている。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 地域による子育て支援を推進していくためには、市や千葉県と地域の企業が連携し、子育て環境について経済的・物理的に支援することは必要であり、重要である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市は赤ちゃんステーション協力店を増やし、千葉県はチーバス協賛店を増やすことに努めた。市内のチーバス協賛店一覧の更新を定期的に行い、市民に対しホームページでも周知した。また、市民ホールに新たに簡易設置型授乳室「miruru」を設置し、より子育てしやすい環境づくりを推進した。
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他  <その他の内容>		地域の企業(事業者)の自主的な協賛により推進される。		地域の企業(事業者)がチーバスの協賛店となる。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし。				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(箇所)	目標値(b)(箇所)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成状況		○要 ●不要
		171	175	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(箇所)		達成率(%) (f/b×100)		○①目標値達成 ●②目標値未達成  <目標を達成した理由/未達成となった原因> 事業者の撤退等により、協賛店舗数が減少したため。
						156		89.14		○要 ●不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について	
			1,258	△727	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100	
				△136.91			1,250		99.36	
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		達成状況		○要 ●不要
		単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 協賛店舗数が減少したため。
		箇所	10万円			12.48		89.72		○要 ●不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善案及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で、一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2282), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for overall status and improvement directions.